「北谷区　市長と語る会」（要点記録）

□ 行政区　　北谷区

□ 日時　　令和 8 年 8 月 25 日（火）午後 7 時～午後 8 時 28 分

□ 出席者　　（市民）　23 人（当該区：21 人　その他：2 人）
（執行部）13 人
市長、副市長、教育長、総務部長、総務部理事、市民生活部長、健康福祉部長、健康福祉部理事、都市整備部長、観光経済部長、教育部長、教育部理事、議会事務局長
（事務局）　3 人
経営企画課長、広聴広報係長、広聴広報係員

□ 会議内容

1　開会のことば　　午後 7 時～

2　市長と語ろう①　　午後 7 時 07 分～
・防火水槽の設置箇所・その能力について
・まほろば号の減便対策について

3　市長と語ろう②　　午後 7 時 30 分～
・自由意見交換（別紙）

4　閉会のことば　　～午後 8 時 28 分

		質問・意見等	区に対する回答
質問者1	意見	まほろば号は小中学生だけでなく、高校生も利用するが、令和8年4月のダイヤ改正により、部活が終わった後、高校生が帰宅する20時台の便がなくなっており、空白の時間が昼間だけではなく夕方もばっさり切られている。その時間帯についても考えてほしい。	スクールバスの導入や今回の代替交通の運行は昼間のまほろば号運行空白時間帯を埋めるために進めておりますが、お伺いしたご意見も貴重なものであるため、今後検討してまいりたいと思います。
質問者2	質問	まほろば号はこれ以上減便されるのか。これ以上減便されると移動手段がなくなり、家に引きこもることとなる。	いろいろなご意見を伺いながら、地域公共交通体系の再構築を検討しているところです。今のところは減便することは考えておりません。
質問者3	質問	民設の防火水槽について、水漏れ等の点検はしてあるようだが、もし、破損した場合は持ち主が修理をするのか。	点検は市や消防署が行っており、市が管理しているものは市が補修しますが、民設分に不都合があった場合は、設置している民間企業等にお願いするようになっております。
		持ち主であっても、必要時に水を持っていかれ、使用時の破損についても持ち主が補修するのか。	消火活動時に破損させてしまった場合については市や消防署で保証します。使わせていただいた水も、防火水槽を清掃のうえお返し、元の状態に戻しております。
		公民館等以外に何か所か個人的な防火水槽があるため、使用した際に壊れているので修理してくださいというのはどうかと思う。負担が大きすぎ、作らない方がよいとなってしまう。	消火活動時に使用する際にはできるだけ公設の防火水槽を使用するようにしますが、やむを得ず民設の防火水槽を使わせていただくこともあります。民設の防火水槽を使用するときには大切に扱い、原状回復も行いますし、消火活動が原因で損壊等した場合には、補修も行い、ご協力していただけるように努めております。大切な防火水槽なので、持ち主の方も市や消防署も壊れないように大切に使用するよう協力しながら進めていきたいと思っておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

		質問・意見等	区に対する回答
質問者4	質問	農業政策について、農業は新米の価格問題や後継者問題など、いろいろな課題がある。本市は筑紫野市や那珂川市と異なり、大きな企業でやっているところが少なく、小農や兼業農家がほとんどである。また、北谷地区は市内で農地の面積が一番広いと思う。このことを踏まえ市は、農業政策についてどう考えているのか。市の独自政策があるのか、また、本市の農業は将来どうなっていくのかを、市長の考えを知りたい。	農業といいましても地域によって労力が異なり、経費もかかるのが現状でございます。残念ながら、太宰府市ではこれまで、例えば農業機械の購入支援や、減反に伴う国の保証金の補填など農業に関する独自の政策は行っておりません。市といたしましては、以前、梅製品を市独自の産品にすべく、農家だけではなく梅の木を持っている市民に対して梅の実の供出に関する調査を行ったことがあります。ご提供いただければそれを活用し、太宰府市ブランドの農産品を作りたいというところで動いておりましたが、現時点で具体的な結果は出ていない状況です。 支援金等の具体的なお金の補助は難しいと感じておりますが、筑紫地区5市にあります JA 筑紫ゆめ畑への出品支援など、農家の皆様がやりがいをもちながら経済的にも潤うような道筋ができないかという思いはあります。本市にある JA 筑紫ゆめ畑には、筑紫野市や太宰府市の方が主に出品されてありますが、そのような PR をもっと行い、JA 筑紫ゆめ畑の売り上げが上がるような PR や施設整備など、JA さんと協力させていただきたいと思っています。農家の皆さんお一人おひとりに具体的な補助金をというのは難しいかもしれませんが、農協との協力や市として補助等ができるものがあれば検討していきたいと思います。 農業で経済的に自立するというのはなかなか難しいのが現実ではありますが、付加価値の高い産品ができ、それが市内で農業をされている世帯の農業所得の伸びに少しでもつながればよいと考えております。 農業は、国民のための食糧生産だけではなく、それ以上に国土保全に大きく貢献し

		質問・意見等	区に対する回答
			ていると思っています。人の手が入らない土地は、がけ崩れなどの災害を引き起こすリスクが高まります。農地の保全というのはそのような観点からも、国土保全のためにも大切であると考えています。
質問者5	意見	火災が起きた場合、通常は一番に消防署が動き、消防団は支援を行う。今回の 7 月に北谷地区で発生した火災で、なぜ６箇所の防火水槽を使用したかというと、消防団は消防署の方に水を送るのが原則であり、数年前にあった火災の際に、河川の水を送ったことにより消防車が砂を噛んで 1 台壊れたことがあったため、河川の水は使えない。その結果、今回は河川の水を使わず防火水槽だけで消火活動を行っている。消防団の支援がなければ消火活動に何時間かかったかわからない。いかに消防団が重要な存在であるかがはっきりした。消防団に協力的でない自治会もあると聞くが、今回のような消防団の在り方、必要性を自治会に PR していただきたい。	今回の火災では消防団が下の方の防火水槽から何台も中継し、消防署へ水を送ったと報告を受けております。消防団の活躍、消防団がいなければ火事はもっとひどくなっていたと思われます。今後も消防団の活躍は必要ではないかと思います。以前に比べると消防団員の数も少なくなり、どこの団も消防団員の定数を充足できない状況にあります。今回の北谷での火災を教訓にしながら、いざという時の消防団の活躍や必要性を周知していこうと思います。消防団は、消火活動のみならず災害救助や復旧作業も行っていただいており、市民の安全安心な暮らしを守るために必要な組織です。市としましても今後、消防団の従事、活躍に協力をさせていただきたいと思います。
質問者6	意見	防火水槽を使用した関係で、水を戻すために次の日も消防団が出ている。その際は河川から水を貯めており、時間がたてば砂は沈み、実際の使用の際には、砂を吸い込むことはないため、消防署も防火水槽に貯める分は仕方なしとしている。北谷地区は防火水槽 6 基で賄っているが、消防団の負担や水の足りなさを考慮し、防火水槽を増設できないか。	改めて検討はさせていただきたいと思いますが、今回の火災に関して、消防署に対し、水利の不足はなかったか検証しております。消防署としては、消防団のご協力があったことにより、水利は足りたとのことでした。これも消防団のご協力あってこそであるため、防火水槽の増設もご意見として賜りたいと思います。

		質問・意見等	区に対する回答
質問者7	意見	市全体で考えると北谷の住民は少ないかもしれないが、北谷地区は、自然や歴史が豊かな、特長のある大事な場所である。この地域を大切にしてほしい。	全く同感です。北谷地区は、昔は酒を造られたり、かしわごはんなど、豊かな自然や、その自然の恵みにあふれた場所であり、宝物だと思っています。豊かな自然を守るために乱開発は避けたいという思いはあります。北谷を守っていくためには、地域の皆様のご協力がなければ市の思いだけではできませんし、北谷の豊かな自然を愛する皆様の思いが守っていくのではないかと考えております。市としても、皆様と協力していきたいと思っています。
質問者8	意見	令和8年熊本地震の被災地の状況から、地震発生からインフラ整備がされるまでの72時間は自助努力が必要であることがわかった。自助努力の普及、啓発をするとともに、避難所だけでなく重要な選択のひとつとなる車中泊を視野に入れた防災を仕組みに考えていただきたい。	県で予測している数値をもとにした多数の避難者を市内の避難所だけで受け入れるのは難しい現状があります。その場合、避難者の皆様には、車中泊等をお願いしなければならない場合もあります。市は、キャンピングカーを取り扱っている企業等と包括連携協定を結んでおり、その他についても多数の企業さんと協定を結び準備はしていますが、物資がすみやかに届けられるかどうかは災害状況に左右されることから不明です。よって、やはり地震発生から72時間は自助努力が大切であると思います。この点、今後市民の皆様に向けた啓発も行っていこうと思いますし、車中泊をされている方にも支援ができる体制を組めるようにしたいと思います。今後の災害対策の教訓、検討の一つとして参考にさせていただきます。

		質問・意見等	区に対する回答
質問者9	意見	現在は水害も多く、北谷地区もいつ水害が起きるかわからない。河川の整備をどう考えているか。御笠川や宝満川の両サイドに木がたくさん生えており、それが原因で鉄砲水が起こるのではないか。災害に詳しい専門家に現場を見ていただいて、適切に対応していただきたい。	河川の維持管理は、市内全域の課題であり、平成15年には市内で大きな被害を受けました。市内では水害では土砂崩れの危険性が一番高いと思われ、安全安心なまちづくりと言われるところで、災害対応には力を入れたいと思っております。河川整備は福岡県那珂県土整備事務所の管轄となり、毎年河川整備を含めて対応要望を行っています。これについては、県だけではなく、本市選出の県議会議員にもお願いをしているところです。具体的には河川のなかの大きな木の伐採などをしていただいているところでありますが、十分に至らない点もございます。先ほどの専門家に見ていただいて適切な対応をというところは、福岡県にもお願いしていこうと思います。
質問者10	意見	20年近く前から近所の河川の木が倒れたままどうにかしてほしいと言い続けているが、放置されている。鉄砲水が心配されるので、どうにかしてもらえないか。	本件も福岡県の管轄となり、対応要望をしていますが経過観察との回答が来ています。来年度も要望は行いますし、県の回答としては今後も、経過観察となっておりますので、よろしくお願いします。 再度状況は把握させていただき、必要に応じて先ほどの河川整備と併せまして県に要望させていただきたいと思います。
質問11	質問	まほろば号やのるーと太宰府などの地域公共交通体系の再構築を検討されるときに、住民の意見は聞くのか。	市民の皆様のご意見については、あらゆる形で聴かせていただきたいと考えております。

		質問・意見等	区に対する回答
質問12	意見	北谷ダムがあるものの、北谷地区は面積が広く、高低差も激しい。ダムの水を水路に動かすように考えたらどうかと思う。火災発生時に備え、高低差があることなどをよく考えていただきたい。	火災はいつどこで発生するかわからないものです。消防団も日頃からいろいろな訓練をしていただいており、今回の火災でも高低差が50mくらいある中、車を6台も7台もつないで水を送って、消火活動ができたところです。おっしゃるとおり、火災にはいろいろな種類があり、消防署としては筑紫野太宰府消防署、福岡市消防ではヘリなどもあります。場合によっては県の防災など、地震の時に見られるように応援に駆け付けることになっております。 まずは山火事を含めて火災が起こらないようにすることが大切かと思います。市としては特に山林火災はほぼ人為的な原因と言われておりますので、それが起きないように普及啓発をしていきたいと思います。宝満山では、たばこポイ捨て防止の看板設置、点検なども消防署で行っております。今回の北谷地区の火災も教訓に消防署、消防団、住民の皆様とまずは火災を起こさせない、起きた場合もきちんと対応ができるように頑張ってまいりたいと思いますのでよろしくお願いします。
質問者13	意見	スクールバスの導入には感謝している。 また、減便対策として代替交通を検討しているとのことで、ぜひ2便でも3便でも増便していただいて、区民の皆さんの移動の利便性を確保していただきたい。	減便したところはできるだけカバーしていきたいと思っており、9月議会にて代替交通運行補助に係る補正予算を上程する予定です。本予算が可決された場合は、本年度内の代替交通運行の導入を目指していきます。 これ以上まほろば号を減便しないことを肝に銘じ、地域や皆様の需要と地域の地形に合った地域公共交通体系を整備していきたいと思いますので皆様のご理解をお願いいたします。